

第 53 回鹿児島県高等学校新人空手道競技大会 (全国選抜九州地区大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 ・ 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県体育協会 ・ 公益財団法人全空連鹿児島県空手道連盟
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期 日 平成 30 年 10 月 11 日 (木) ・ 12 日 (金)
集合 8 時 30 分 開始 9 時
- 5 会 場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競 技 規 定 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定並びに審判規定
全国高等学校体育連盟空手道専門部規定
- 7 競 技 方 法 第 1 日 目 個人形(予選・準決勝), 団体形(予選・決勝), 団体組手
第 2 日 目 個人形(決勝), 個人組手
- 8 引 率 ・ 監 督 (1) 引率責任者は, 校長の認める当該校の職員とする。
(2) 監督, コーチ等は校長が認める指導者とし, それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し, (2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は, その規定に従うことを原則とする。

【参考】

引率が認められる職員	教頭 教諭 助教諭 養護教諭 養護助教諭 講師(常勤) 実習助手(以下の条件を全て満たし, 校長が承認した者)
条 件	1 正規職員であること 2 当該部活動の指導を常時行っていること 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許状認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し, かつ6年以上の勤務経験があること

- 9 参 加 資 格 (1) 平成 30 年度県高体連加盟校在籍学生で 1・2 年生に限る。但し, 休学中・留学中の生徒は除く。
(2) 年齢は平成 12(2000)年 4 月 2 日以降に生まれたものとする。但し, 出場は同一競技 2 回までとし, 同一学年での出場は 1 回限りとする。
(3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(4) 統廃合の対象となる学校については, 当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(「合同チーム参加届け」を提出すること。)
(5) 転校後 6 か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し, 一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。
(「大会出場許可申請書」を提出すること。)
(6) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け, 在学する学校長の承認を必要とする。
(7) その他の事項については, 大会申し合わせ事項による。
(8) 参加資格の特例による学校の参加については, 鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項のとおりとする。
- 10 参 加 申 込 参加申込みに際しては, 「鹿児島県高等学技総合体育大会・鹿児島県高等学校新人体育大会における個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込方法
当該学校長の責任において、所定の様式(参加申込書)により、2部作成(1部は写しでも可)し、9月19日(水)午後4時30分までに必着とする。
- (2) 申込場所
鹿児島市谷山中央八丁目4番1号(〒891-0141)
県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛 (Tel. 099-268-8391)
- (3) 電子データ送信アドレス
選手名簿のデータ(エクセルファイル)を9月19日(水)までに下記アドレスに送信する。
[yonenaga-toshiyuki@edu.pref.kagoshima.jp] (連絡先 専門委員 米永敏之)
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに専門委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

11 競技種目

- (1) 男子……団体組手・団体形・個人組手・個人形
(2) 女子……団体組手・団体形・個人組手・個人形

12 表彰

団体組手・形4位, 個人組手各階級3位, 個人形4位まで表彰する。

13 監督会議

- (1) 日時 10月11日(木) 8時30分～
(2) 会場 鹿児島県総合体育センター体育館

14 組合せ

9月21日(金)午前9時から甲南高校において専門部で組合せを行う。
各チームの監督は組合せ会に出席してもよい。組合せ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。(http://www1.bbq.jp/koutairen/index.htm)

15 組手競技

- (1) 団体組手について
- ① 男子5名(補欠3名), 女子5名(補欠3名)とする。
 - ② 上位4チームで決勝リーグを行う。
 - ③ 出場校が10校未満の場合はリンクトーナメント制を取り入れることもある。
 - ④ 登録されたメンバーの中で、競技毎のオーダーの交替が出来る。
 - ⑤ 規定の5人に満たない場合でも過半数(3人)の選手で成立する。但し、オーダー順は先鋒から順につめて、選手4人の場合は大将を、選手3人の場合は副将・大将を欠員とする。
 - ⑥ 組手競技で一度負傷によって棄権した選手は、当日以後の組手競技には出場できない。
- (2) 個人組手について
- ① 1校4名以内とする。ただし、補欠は認めない。
 - ② 男女3階級ずつの体重制とし、階級表は以下の通りとする。なお、階級別のエントリー数には制限を設けない。(各学校の判断とする。)

男子個人組手		
A	-61Kg級	62.0Kg未満
B	-68Kg級	61.0Kg以上69.0Kg未満
C	+68Kg級	68.0Kg以上
女子個人組手		
A	-53Kg級	54.0Kg未満
B	-59Kg級	53.0Kg以上60.0Kg未満
C	+59Kg級	59.0Kg以上

着衣分として、0.5kgと計測器測定値幅として、±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を左記のように定める。
計量は1日目の午前中に行う。なお、団体・個人形競技出場者は競技終了後に行う。

- ③ 計量の服装は男女ともに上衣はTシャツ(半袖), 下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯, サポーター等の着用は一切認めない。計量から0.5kgを引く。
- ④ 計量をパスしなかった場合は「棄権」となり、個人戦には出場できない。ただし、団体

戦には出場できる。

(3) 安全具（高体連指定）の着用

女子……ニューメンフォー・拳サポーター・ボディプロテクター・シンガード・
インステップガードの5点セット

男子……女子の安全具にセーフティカップを加えた6点セット

(4) 安全具の不備な選手は参加を認めない。

16 形 競 技

(1) 個人形は、1校2名以内とし、個人戦の補欠は認めない。

(2) 個人形の予選、準決勝は得点制とし、全日本空手道連盟第一指定形の中から選ぶ。
決勝も得点制とし、全日本空手道連盟第二指定形の中から選ぶ。

(3) 団体形は、男子3名（補欠3名）、女子3名（補欠3名）とする。

予選は得点制とし、全日本空手道連盟第一指定形の中から選ぶ。決勝も得点制とし、全日本空手道連盟第二指定形の中から選ぶ。

(4) 予選、準決勝で同点があった場合は、再試合をせずに次へ進出させる。決勝で同点があった場合は、再試合を行う。その際の形は、決勝で演武しなかった全日本空手道連盟第一、二指定形とする。なお、予選で演武した形は選んでもよい。

17 そ の 他

(1) 九州大会の出場について

男女共、団体組手・形4位、個人組手各階級2位または3位まで（階級のエントリー数に応じて出場数を決定）、個人形4位まで。※ 棄権に伴う繰上げ出場は認めない。

(2) 競技者の道衣は純白とし、左胸に校名、左肩に県名を必ずつける。その際の校名、県名は黒、紺、スクールカラーとする。道着に入れる氏名は黒色のみとする。

(3) 決められた場所（胸の学校名、袖の県名、上着・下着の名前）以外に刺繍することは禁止とする。名前を入れる場合は、自分の姓（名字）またはフルネームが望ましい。

(4) 上着は必ず脇に紐のあるものを着用する（胸紐は付けてはいけません）。袖の長さは手首までとし、前腕の中ほどより短くしてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。
ズボンの長さは、踝がかくれてはならない。少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、裾をまくり上げてはならない。

また、空手道衣の袖の空き、ズボンの空きは8~20cmでなければならない。

(5) 申込書不備の学校、個人については申込みを受け付けない。

(6) 選手の頭髪等

染毛、パーマ、極端な長髪は禁止する。（女子はヘアピン、リボンを禁止する。）

(7) 健康管理

① 競技中の傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

② 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。

③ 参加者は健康保険証を持参すること。

(8) 眼鏡での出場は認めない。ただし、コンタクトレンズ（ソフト）は認める。

(9) 会場や観覧席を汚さないよう各校とも責任をもって処理すること。